



ほくえい

- 思いやりのある子
- たくましい子
- 助け合う子
- ◎科学検定の答えは、
- ◎②の鉄です

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp>

平成29年12月8日

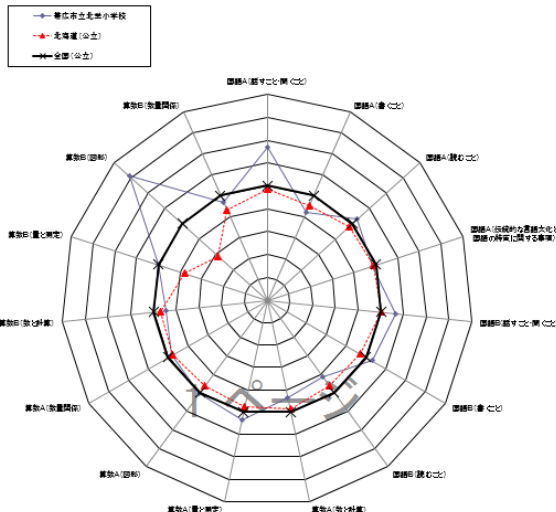
発行者 校長 高原 茂雄

北栄の学び 学力学習状況調査から ①

本年度の「学力学習状況調査」の結果とわかったことについてお知らせします。

この調査は本年4月に6年生を対象に実施したものです。また、実施した問題からわかる学力の状況について示したものです。したがって、本校の学力の一部分を示すものです。

1 学力全体の様子



本校の平均点は、ほとんどの項目で、全国平均付近に位置しています。これまでの学習がほぼ身につけていることを示していると考えています。

A問題（基礎的な問題）、とB問題を比べるとB問題が比較的優れています。自分で調べたり、まとめる、関係を調べる学習が身についています。

問題に答えていない（無回答）は極めて少なくなっています。あきらめずにやり遂げているといえます。

比較的正確が少ない人の割合が全道・帯広市と比べて少なくなっています。逆に、ほとんど正確している人の割合は全国よりも少なくなっています。クラスの全体が同じように学習し同じ程度の理解しながら学習を進めていると考えています。（②につづく）

すぐそばでおきています

スマートフォンを持っている子どもが、どんどん増えています。それに伴って、間違った使い方をしたために、事件や事故に巻き込まれてしまう子どもも増えています。

ネットの世界は実社会と同じく、役に立つこともあれば、害を及ぼすこともあります。

普通、実社会では子どもが一人前になるまで、危険な場所に一人で行かせることはしません。また、予想される危険に対しては、大人が対処法を教えています。ネットの世界も同じです。

スマートフォンを子どもに与えている場合、次のことに注意しましょう。

- ・フィルタリング（制限）を付けていますか
- ・約束（時間、場所など）を決めていますか
- ・リスクを知らせていますか
- ・使い方に関心を持つことは、親として当然ことです。使い方注目していますか。

ネットでの子どもの事故がいろいろと報道されています。いわゆる「自撮り」や「炎上」は遠くで起こっている訳ではありません。意外と近くでも普通に起こっています。交通事故と同じく身近なものとして気をつけたいものです。



学校では、近く「使い方教室」を実施します。

今年2回目の**科学検定**を7・8日に行いました。今回は約40名が挑戦しました。

なかなか難しい検定ですがたくさんの合格者が出るとうれいですね。

こんな問題です。（5級・6級 高学年相当）
 江戸時代、火をつけるときに使っていた固い石「火打石」と、鉄でできた「火打金（ひうちがね）」という道具があります。この2つを勢よくぶつくと、火花が出ます。この火花は何が燃えたものでしょうか
 （こたえはタイトルの横にあります）
 ①火打石に含まれる炭素 ②火打ち金に含まれる鉄 ③ぶつかった石と鉄がくっついたもの ④ぶつかったときにできた電気

